

0610 | デッサンII

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

三浦明範教授、重政啓治教授、永井研治教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、今井庸介講師、
大家泰仁講師、加藤健二講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、清水健太郎講師、神彌佐子講師、
瀬島匠講師、東俊行講師、星晃講師、山本明比古講師、吉川民仁講師、渡邊洋講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

自然（風景）は変化に富み、我々に様々な感動を与え、諸々の感情を呼び覚ましてくれる。しかし、これを絵として定着させるためには、このような感動の背後にある造形的な根拠を理解することが必要になる。目の前に広がる我々の住む世界をどう認識し、絵画としてどう捉えて行くかを探究する。
通信授業では、自分の住む町の風景を描き、面接授業では、大学構内風景を描く。

課題の概要

○通信授業課題「自分の住む町」

1-1 自分の住む町をモチーフにクロッキーする。

1-2 「1-1」と同モチーフをデッサンまたは油彩で制作する。

○面接授業課題「風景を描く」

1-1 大学構内風景をデッサン（鉛筆淡彩可）または油彩で制作する。デッサンの場合は B2 画用紙または木炭紙。描画材は鉛筆、水彩または木炭。油彩の場合、15～20 号キャンバス。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『デッサンI・II デッサン研究 平成 29 年度』の「デッサンII」を参照。

教科書『絵画一素材・技法一』の第1章「デッサン・油彩」、第3章「水性絵具」等を参照。

[面接授業]

第1日 午前：前提講義及び制作 午後：制作（風景を描く）

第2日 午前：制作 午後：制作

第3日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 「デッサンI」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること(2,3年次編入学生を除く)

[備考] 「デッサンI」、「デッサンII」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果上がるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合など順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『絵画一素材・技法一』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『デッサンI・II デッサン研究 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）